一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和５年第１回定例会

令和５年３月３日

質問順	会　派　名 氏　　名	質　問　事　項（要　旨）
1	令和新政クラブ 上　田　　雅	1　災害対策事業等について 2　地区の活性化と人材育成等について
2	日本共産党議員団 米　重　健　男	1　ふるさと向日市創生計画について 2　JR 向日町駅について 3　補助金等の申請手続きの簡素化について
3	令和自民クラブ 天　野　俊　宏	1　本市の未来を担う人材確保について 2　子育て支援医療費助成について 3　本市の観光について 4　避難行動要支援者の避難について
4	公明党議員団 長　尾　美矢子	1　発達性読み書き障害（ディスレクシア）について 2　学校等におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム）の投与について 3　子供たちを性被害、性加害から守る教育について
5	ＭＵＫＯクラブ 和　島　一　行	1　本市のひらがな表記について 2　ひとり親家庭の子どもの支援について
6	村　田　光　隆	1　本市の自転車交通の諸課題について。 2　ケアマネージャーが不足している。
7	日本共産党議員団 常　盤　ゆかり	1　子育てにかかる負担軽減策について 2　災害時の対応について
8	令和自民クラブ 石　田　眞由美	1　竹林政策・施策について 2　ゼロカーボンシティに向けての施策・取り組みについて
9	公明党議員団 福　田　正　人	1　高齢者への支援について 2　書かない窓口について
１０	松　本　美由紀	1　向日町競輪場の存続の方針を受けて 2　保育所入所・一時預かり保育等について

１１	日本共産党議員団 北　林　智　子	１　保育行政について ２　私立幼稚園の請願を受けて ３　向日市パートナーシップ宣誓制度の周知、徹底について
１２	飛鳥井　佳　子	１　インクルーシブ教育で誰も排除されない学校や地域づくりを ２　向日市犯罪被害者等 支援条例について ３　物集女城の再建で、観光文化都市を目指すことについて
１３	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　地下水を保全し、自己水中心の向日市の水道を求める ２　高すぎる国民健康保険の引き下げについて ３　都市計画道路牛ケ瀬馬場線の計画進行状況について
１４	杉　谷　伸　夫	１　ゼロカーボンシティの実現に向けた市長の覚悟を問う ２　乙訓環境衛生組合の一般廃棄物処理施設整備基本構想について ３　生活困窮者への支援と、なんでも相談窓口の設置について
１５	日本共産党議員団 山　田　千枝子	１　安田市政４年間の生活保護行政と福祉の拡充について ２　企業城下町より向日市住民共同体の町を
１６	日本共産党議員団 丹　野　直　次	１　平和行政の充実について ２　「ぐるっとむこうバス」利用促進について ３　市役所・市民会館周辺の駐車場確保について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	上田　雅	所属会派名	令和新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 災害対策事業等について	災害に対する備えは常に必要である。 また意識を向ける必要がある。 災害対策について市の考えを伺う。
２． 地区の活性化と人材育成等について	本市の益々発展のためには、職員の人材確保と様々な分野で活躍できる人が必要である。 今後の市や地区を担っていく人材の育成等について市の考えを伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１，ふるさと向日市創生計画について	８年前の安田市長の就任以来、「ふるさと向日市創生計画」を本市の最上位計画と位置付け、2次にわたりこれに沿った市政を行われて来た。この計画で市長は「にぎわい」「活力」「ふるさと」といったことを強調されて来たが、本市の向かう未来についてどの様に考えておられるか伺う。 １，市長が目指す「にぎわい」「活力」について 市民が想像する「にぎわい」「活力」というところでは「近くに買い物のできるお店、喫茶店や食堂がありかつ何でも揃う中型スーパーもあること、少し行けば軽く体も鍛えられる公園や、無料の憩いの広場があり若者や高齢者も遠慮なく集える憩いの場があること」と言った内容がそれぞれには別々であっても聞かれるところである。市長の想定されて来た本市における「にぎわい」「活力」とは具体的にどのような状況になる事を指すのか伺いたい。 ２，「ふるさと」と感じられる方法について 市長は「市民の皆様に「ふるさと」と感じてもらえる向日市」を目指すとされているが、市民が本市を好ましいと思う内容については対立する内容もある。住宅街近隣の自然環境を求める声と本市の開発を求める声の両方があるが、どの様に両立を図られるか。こうした相反する要求を考えるにあたっては全世代的で各層の多様な市民参加が必要である。 ３，豊かな自然と充実した子育て環境、高い交通利便性など本市の魅力を発信することについて 本市へ移住された方の中で豊かな自然環境とそれに伴う良好な子育て環境、利便性の高い住環境を選択の理由として挙げておられる。また、かつては「地下水がおいしく、緑が多いまち、各小学校区に公立の保育所と学童保育所が設けられ、働きながら子育てのしやすいまち」として、人口の増加につながって来たとお聞きしている。積極的に発信してはどうか。

	４，物価高騰対策で「活力」と「にぎわい」を 　物価高騰が続く中で、賃金の上昇も一部の大企業のみに留まり、本市でも高齢者やシングルマザー、非正規労働や低賃金で働くことを余儀なくされている方などを中心に家計で大きな影響が出てきている。市民の「活力」を支えるためにも上下水道等公共料金の減免やくらしの応援・支援の施策の充実が必要であると考えるがいかがか。
２，ＪＲ向日町駅について	JR向日町駅は東口開設に伴う支障物件の移転工事などが始まり、新聞などでも本格的に動き出したと報道されている。完成予想図の公開などで具体的な中身が市民の目にも入るようになった。そうした中で、「駅西側についてはどうなるのか」「人の流れが東側に偏り、西側が衰退するのではないか」という声をお聞きしている。また、「歩道への自転車の乗り入れなどで、自転車の進行方向がバラバラな事やスピードが歩いて怖い」などの解決を求める声もある。 　一方、東向日駅周辺では京都銀行の移転や三菱UFJ 銀行、ライフシティなど市民生活を支えてきた店舗・施設の閉店が相次ぐなど「活気」と「にぎわい」が失われつつあると市民から嘆きの声が出ている。東向日駅周辺は永らく向日市のにぎわいの中心となってきたが、開放されたスペースの不足に合わせて人の滞留場所・送迎車の停車スペースがなく対策が急務となっている。市長は「ふるさと創生計画」で阪急東向日駅の連続立体交差について調査検討を行われて来たが、その後についてはどの様になっているのか市民にとっては実像が見えて来ていない。市ではポケットパークの整備などを行われているが、駅周辺全体としての構想が必要なのではないか。 １，JR 向日町駅西側の自転車と歩行者の交通安全 ２，東向日駅周辺の整備と現状認識について
３，補助金等の申請手続きの簡素化について	補助金は条例の規定で事前の見積もりが必要だが、見積もり無しで低価格で販売している業者もあり、町内会等でも予算の節約で検討されるところも多い。市も支出削減や支給可能件数増で政策効果の向上が見込める。事業の内容に大きな違いがない場合、現物や領収書で内容の確認は難しくない。 １，自治会・町内会での物品等の購入の補助金における事前見積もり等の提出の簡略化について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

（総括質問・~~分割質問~~）

質問者氏名	天野　俊宏	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
1．本市の未来を担う人材確保について	今年度、市制施行50周年を迎えた本市が、次の60周年、100周年に向けての、未来を担う職員の確保について伺う。 1. 国や都道府県、地方自治体ともに職員採用試験の応募者が減少していると聞くが、本市の状況について伺う 2. 向日市の職員としての魅力をどのようにPRし、人材を確保していこうとしているのか伺う 3. 本市は、京都市や長岡京市といった地域手当の高い地域に囲まれている状況も、人材確保に影響があると考えるが、どのように対応していくのか伺う。
2．子育て支援医療費助成について	子育て環境日本一を目指す京都府の「京都子育て支援医療助成費」の拡充を受けた本市の取組について伺う 1. 京都府の令和5年度当初予算において、「京都子育て支援医療助成費」の拡充が計上されているが、それを受けて、本市独自の子育て支援医療制度の拡充について伺う。

傍聴者　配布資料

3.本市の観光について	これからの本市観光について伺う 1. 竹の径の更なる活用（フォトスポット設置）について伺う 2. 本市の新たな観光資源（物集女宗入と物集女城跡）について伺う
4. 避難行動要支援者の避難について	災害時等、自力での避難が困難な方の避難誘導などについて伺う 1. 避難行動要支援者の避難訓練（消防団への依頼など）について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、発達性読み書き障害（ディスレクシア）について	１）ディスレクシアの児童生徒は把握されているか。学校現場での検査が行われているかお尋ねする。 ２）ディスクレシアの困難さの克服のためにタブレット端末の活用やデジタル教科書を効果的に活用することについていかがかお尋ねする。 ３）ディスクレシア理解のための工夫についていかがかお尋ねする。
２、学校等におけるてんかん発作時の口腔溶液(ブコラム)の投与について	１）　向日市内の小中学校で、てんかんの児童数の把握はされているかお尋ねする。ブコラム口腔溶液を投与できる事務連絡についてどのように伝達されているかお尋ねする。 ２）　ブコラムの投与について職員への研修や、体制の整備についてご見解をお尋ねする。
３、子供たちを性被害、性加害から守る教育について	１）向日市内の小中学校の性教育の実情についてお尋ねする。 ２）大原野中学校の性教育についてのご見解をお尋ねする。 ３）大原野中学校への視察、情報交換、先生方の性教育についての議論の状況、保護者の理解への現状、課題についてお尋ねする。 ４）学校の保健室での相談の状況について相談する。 ５）学生でない場合の相談窓口や周知の状況についてお尋ねする。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	和島一行	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．本市のひらがな表記について	本市の名前は京都府内26自治体中で唯一素直に読んでいただけない地名である。他の自治体ではひらがな表記やカタカナ表記、ひらがな（カタカナ）＋漢字表記に変更しアピールしている。本市としてのひらがな表記にすることへの見解を訊く。 ①本市はアピール戦略として「むこう、むこう」と称して府内で展開している。他に、広報むこう、むこう社協、むこうcity.jp、HANAむこうなど、所々でひらがな表記を見かけ、漢字表記にはしていない。 これから本市としてひらがな表記にすることへの見解を伺う。 ②現在の漢字表記をひらがな表記にする際に 踏んでいくプロセスを訊く。 ③ひらがな表記にすることで影響する機関はどこ まで及ぶと予想されるか伺う。
２．ひとり親家庭の子どもの支援について	全国ではひとり親家庭（父子、母子）が令和2年度で140万世帯とデータが出ている。その中でも母子家庭は120万世帯以上である。 本市のシングルマザーの方のお子さんへの支援を切れ目なく、しっかり力を入れ、将来の日本の担い手を育てる意義がある。 令和元年度からのデータだが離婚世帯が１５０世帯弱あるようだ。 その中でもお子さんがいながらでの離婚は当事者はもちろん、お子さんにとって大きな経済的、精神的にもおおきな負担になる。 本市のひとり親家庭のお子さんの現況の報告、その子たちへのあらゆる支援状況、これからの展望を詳しく伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．本市の自転車交通の諸課題について。	向日市は狭い道が入り組んでおり、行き止まりも多く、自動車で走行するには難易度の高い町である。 西日本で一番面積の小さい市域内を移動するのに威力を発揮するのが自転車である。 ただ、物集女街道など自動車と並走する道は走り難く、危険である。 安全対策が必要ではないか。 牛ケ瀬馬場線（ニデックパーク前）で新しく設置された自転車レーンは幅が広いが、「自転車専用」という道路に施された文字に厚みがあり、買ったものを積んだ自転車のハンドルが取られそうになる。 段差をなくすべきである。 東向日別館（ダイエー）前の駐輪場が朝の開店前からすでに数十台の自転車が停められている。 対策をするべきではないか。 4 月 1 日から自転車乗車時にヘルメットの着用が努力義務化される。 自治体と警察は、ヘルメット着用の広報と、どのような自転車用ヘルメットを着用すればよいのか例示が必要ではないか。
2．ケアマネージャーが不足している。	市内で要介護の認定を受けても、介護施設はケアプランの作成を断っていると聞く。 ケアマネ（介護支援専門員）不足が原因である。 介護職員の不足は知られているが、ケアマネ不足は知られていない。 市は現状を把握しているのか。 本来、国の問題であるが、基礎自治体として打開策はあるのか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	常盤ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１，子育てにかかる負担軽減策について	コロナ禍において保護者の負担軽減策が求められる。市の子育て支援施策について聞く。 1、子どもの医療費助成制度について ①　府の新年度予算案が出され、市においては、新年度予算案で、高校卒業まで入院費の助成拡充とされた。新年度の予算案として、今回は入院費の助成であるが、通院も無料へと求めるがどうか。また、通院費助成をするには市の負担はいくらになるか。 ②　京都市では、小学生のむし歯の治療に対して自己負担額を助成しておられる。向日市でも補助制度を求める声が上がっている。どう考えるか。 ２、学校給食費の無償化について 学校での学びのあり方とともに、学校給食の重要性がコロナ禍を通して再認識されている。 ①　学校給食費の無償化が全国でも広がっている。子どもの健やかな成長を支え保護者への負担軽減のため、本市においても学校給食費の無償化を求めるがどうか。 ②　保育所・小中学校への給食食材に、向日市産のものは現在何種類使用されているか。また、今後においての安定供給、種類を増やしていく計画、オーガニック食材の導入などについてどうか。 ３、教育費の負担軽減について 制服などの指定品（指定の販売店などで購入）、裁縫セットや習字セットなど継続的に使う補助教材、ノートや雑巾、工作や実習などで使う材料の消耗品があり、こうした費用は学校徴収金として予算化されておらず単発的に必要が生じ、特に見えにくい教育費負担を「隠れ教育費」とされている。少しでも教育費の保護者負担を減らすための努力や教材費補助など求めたいが、考えを聞く。（学校指定以外のものを可とすることや個人所有から学校共有にするなど） ４、不登校児童生徒への支援について ①　フリースクール運営者や子どもや親の居場所づくりに関わっておられる方など当事者と直接話はされたか。 ②　市内で不登校児童生徒への支援を行っておられるところへと紹介をし、つながった例はあったか。お聞きする。

傍聴者　配布資料

２，災害時の対応について	1 月 24 日は大寒波、大雪の影響で JR は停止し、ダイヤは大混乱となり、多くの帰宅困難者が発生した。JR 向日町駅前のある店舗では一晩中開放され、帰宅困難者を受け入れられた。 近くには、「まちてらす MUKO」があるが、当日は定休日で閉店されていた。 1 月 24 日の寒波と大雪で、多数の列車が立ち往生した問題について JR 西日本の長谷川会長は、「事前の備えが全くもって不十分でトラブル発生時の対応もぜい弱だった。社長として責任を痛感している」と陳謝している。列車の混乱については当然ながら JR の責任ではあるが、 １，当時の JR 向日町駅の状況について、いつ、どのように伝えられていたのか。 ２，状況を伝えられた上でどのような判断をされたのか。 ３，近くの公共施設（まちてらす MUKO 含む）を開放するなどいたらなかったのか。 ４，今回は大雪による災害であり、本市としてはこれまで想定してこなかったものである。当日は 10 年に 1 度の大寒波というものだったが、これを教訓に雪害に対する帰宅困難者への受入れ体制も必要であるのではないか。考えを聞く。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	石田 眞由美	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．竹林政策・施策について	本市北西部にある向日丘陵には、全国的にも有名な良質な筍を産する竹林が広がっている。散策路、竹の径が整備され、その手入れの行き届いた美しい竹林の景観は市民の憩いの場として、そして本市の貴重な観光資源として活用されている。大切な地域資源、竹林を、農業×緑地景観×竹産業×観光等の相乗効果で持続可能とし後世に引き継ぎたいと考える。今回は、「令和４年度の主要事業の進捗状況と今後の取組みについて」を中心に質問する。
２．ゼロカーボンシティに向けての施策・取り組みについて	本市は、50 周年を契機として 2022 年 10 月 1 日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行った。将来にわたって持続可能なまちとして発展し、市民・事業者・行政の「オール向日市」で 2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボン）を目指すための施策について伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１　高齢者への支援について	① 2025年問題（高齢者人口増加）について 2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる。そこで本市の推移と対策を伺う。 ② 認知症対策について 日本における認知症の人の数は推計値で 600 万人を超え、高齢化率の上昇に伴い、今後も増加が見込まれる。認知症に対する理解の促進や認知症サポーターの養成、相談体制の整備など、総合的な対策が必要と考える。見解を伺う。 ③ 8050問題とヤングケアラー問題について 80代の親が引きこもる50代の子供の生活を支え経済的・精神的に行き詰まることが少なくない。親の介護を行う子供が当たり前の生活が送れない状況がある。8050問題・老老介護・ヤングケアラー共に、相談窓口や家事支援体制の整備が必要である。見解を伺う。 ④ 高齢者の住宅入居支援について 高齢化に伴い、単身世帯となる世帯が増加している。又伴侶の死に伴い少額となった年金に見合った賃貸住宅を求める高齢者が増加している。しかし身寄りのない高齢者にとって入居時の連帯保証人が出せないことがある。そこで連帯保証人に代わる制度として民間会社の家賃保証制度があるが、保証金額が大きく年金暮らしの高齢者にとって重くのしかかっている。支援策として、家賃保証料の補助が必要であると考える。見解を伺う。

傍聴者　配布資料

２　書かない窓口について	政府は2022年6月7日に、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を決定し、その後あらゆる面で具体化が進んでいる。そこで本市のデジタル化の取り組みについて伺う。 ① 市民サービス部における各種証明書の交付数とコンビニでの証明書の交付数を聞く。 ② マイナンバー申請状況から見えた課題について伺う。 ③ 本市において、デジタル化を進めることにより窓口での証明書の発行をどのように改善されようとしているのかについて伺う。 ④ 書かない窓口について伺う。 書かない窓口は、もともと北海道北見市が２０１６年に取り入れられた窓口業務改善の抜本的な考えである。内容は市役所内部の業務改善と事務の効率化として、ＩＣＴを活用したワンストップサービスの実現、手続きの見直し、職員の対応力向上、業務環境の効率化と柔軟な窓口運用が示された新たな業務の推進方法である。 具体的には、来庁者に対して職員がその方の住所、氏名、生年月日などの情報や申請内容を聞き取り来庁者は手渡された申請書に署名することで終了となり、手続きにかかる時間や手間が省かれ、高齢者や障がい者・字を書くのが苦手な方にとって優しい窓口となっている。 そこで本市における書かない窓口の導入についてどのようにお考えかを伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本　美由紀	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日町競輪場の存続の方針を受けて	京都向日町競輪場の存廃について議論していた京都府の外部有識者会議が競輪場の存続を支持された。これを受けて、老朽化した施設の再整備等の検討が本格的に進む中、本件についてお尋ねする。 **１．　京都向日町競輪場の存続の方針を受けて、市長の思いを伺う。** 競輪場の施設所有と主催は京都府であるものの、本市に所在する向日町競輪場の存続の方針を受けて、地元の市長として率直に思いをお尋ねする。 **２．　要望と協力、どのような関わりを考えているか？** 競輪場の再生にあたっては地元の住民さんにとっても使いやすいものであり、また子どもにとっても楽園となるもの、地元への経済効果が期待できるものとなって競輪場を核としたさらなる地域の賑わいづくりにつながるものであることが期待されている。競輪場に隣接する本市として、京都府に対してどのように要望を伝え、本市としてどのような関わりや協力を考えていらっしゃるかお尋ねする。 **３．　基本構想策定について** 基本構想策定についてはどこまで地元の声を取り入れていただけるか？が地元の町内会をはじめ、多くの市民の皆さまが注目されている。基本構想策定において地元の声を反映することについて、現時点でわかる範囲でお尋ねする。 **４．　競輪場角にある通称たこ公園について** 京都府によって管理されている通称たこ公園について、遊具の塗装がはげていたり、ブランコについては吊り具が外された状態になっている。公園敷地内の整備・修繕を京都府に要望していただきたいがいかがか？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本　美由紀	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
２．保育所入所・一時預かり保育等について	子どもたちや保護者にとってより良い保育環境となるように、以下お尋ねする。 １．　保育所入所に関して **（１）保育所入所の選考基準について** 小規模保育施設の卒園時に市内認可施設への通園を希望する場合は１２点が配点されることとなっている。この配点については小規模保育施設の卒園児が優遇されることとなっている。この現状を踏まえて今後の対策について伺う。 **（２）１歳児と３歳児の保育所入所について** 特に１歳児と３歳児の入所のボーダーラインが非常に高い。非正規雇用で就労される家庭には厳しい点数であるが、この点について今後どのように対策を検討されるかお尋ねする。 **２．　一時的保育事業について** **（１）現在の利用状況について** 現在の受け入れの体制や利用状況について伺う。 **（２）一時的保育事業の拡充について** うりゅう保育園が令和５年３月にて、またイオンモール桂川内に開設の事業所も本年閉園されることとなっている。今後一時的保育事業について本市ではどのように取り組まれるか、ご見解を伺う。 **３．　児童館の開設について** 児童館は 0～18 歳未満の全ての子どもたちが使うことができるという他の児童福祉施設にはない特徴があり、家庭や社会状況等をみても、保護者もどこにも誰にも助けを求めることができず、「孤立」しやすい状況にあるなど、現代の新しい課題も指摘されるようになっている。本市についてもぜひ児童館設置に向けて検討し取り組んでいただきたいがいかがか？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、保育行政について	１、令和4年度から国基準の待機児童「0」は、達成したとお聞きしているが、保留児童は、存在している。 ① 令和5年度4月入園１次調整結果での保留児童の人数とその理由を聞く。 ② 今回より導入された、保育所AI入所選考システムについて、成果と今後の課題について伺う。 ２、 昨年１２月議会の私の一般質問の答弁では、何よりも保育士の労働環境の改善・賃金アップなど処遇改善が必要だとの答弁だった。 ① 本市の保育士確保を目的とした具体的な働き方及び処遇の改善策を聞く。（会計年度任用職員の保育士も含む） ② 現在、実施されいる、未来の保育士支援事業「保育士奨学金貸与事業」「保育士奨学金返還事業」の利用状況と、公立保育所でも保育士募集に潤沢に応募がないと考えられることから、以前から提案しているように、公立保育所でもこの事業の導入が必要ではないかお尋ねする。 ３、 保育施設利用調整基準の「申込み児童の状況」の項目で新たに加わった内容の対象者で入所が可能となった児童はおられるか。指数を上げる必要があると考えるがいかがか。 ４、 コロナ禍生活が4年目となり、周りの大人がマスクを着用して接する生活、また、非接触で人との関わりが少ない生活の中、成長してきた子どもたちにとり、言葉の獲得の遅れ、コミュニケーション力の弱さ等、様々な影響が懸念される。それらの事を踏まえて今後の保育の課題について、本市の見解をお尋ねする。

２、私立幼稚園の請願を受けて	この「私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願」は、令和３年、４年の１２月議会で２回にわたり同じ内容で提出され、全会一致で採択された。このことを重く受け止め、請願の内容が、今度こそ進展するよう強く要望し、本市として検討されている具体策について質問する。 １，幼稚園における健診及び歯科健診への補助金の支給について。長岡京市や大山崎では、健診を行う補助制度があり、向日市でも補助を行うこと、乙訓２市１町の子どもたちが、どの幼稚園へ通っていても同じ補助が受けられるようにしていただきたい。 ２，幼稚園のICT化支援について。幼稚園でもICT化は不可欠です。同じ向日市の子どもが通う施設としてすべて支援していただきたい。 ３，2歳児からの幼児教育への支援について。幼稚園での２歳児の受け入れの役割が大きくなり、入園希望も増えている。２歳児への幼児教育を行う幼稚園への支援していただきたい。 ４，発達支援センターと幼稚園との連携支援について本市として子ども子育て会議等を通して、情報を市民へ知らせることや、市民の意見を反映させる等、幼稚園と発達支援センターが連携できる組織をつくることについて伺う。
３、向日市パートナーシップ宣誓制度の周知、徹底について	１、向日市パートナーシップ宣誓制度は、まだ申請はない。今後の制度の周知や、市民のみなさんの性的マイノリティへの理解や共感を深める具体的な取り組みについて伺う。 ①相談窓口や交流スペースの開設について。 ②公共施設の虹色（性的マイノリティを象徴する色）のライトアップなど新たな取り組みを行う事について。 ③広く日常的、継続的なパートナーシップ宣誓制度の周知や性的マイノリティへの理解を深める研修などに取り組むことについて。 ２、国において議論されている、差別禁止や婚姻の平等の法制化について本市の見解をお尋ねする。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	飛鳥井　佳子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． インクルーシブ教育で誰も排除されない学校や地域づくりを	・国連の障がい者権利委員会の勧告があったように、インクルーシブ教育で、地域の学校で障がいのある子どもたちが共に学ぶことを目指すべきだが、教育長の見解と今後の取り組みについて問う。 ・また、国にマンツーマンの人材配置ができる予算を要請すべきだがどうか。 ・次に障がい者とその家族を支えるため、アウトリーチを活用し、「医療的ケア児地域支援体制構築事業」で相談支援専門員にしっかりとした報酬が保障されるようにすることについて、向日市の実情と見解を問う。 ・次にヤングケアラーのサポート体制を一刻も早く作ることが不可欠だが、当市の方針について問う。
２． 向日市犯罪被害者等支援条例について	向日市でも H24 にこの条例を制定しているが、どのような取り組みをしてきたのか。 ・素晴らしい永守重信市民会館で、この問題についての催しをしてほしいがどうか。 ・明石市では、年々、条例を改正し、遺族支援のための見舞金を増額しておられるが、向日市の現状について問う。 ・埼玉県では性暴力被害者支援看護職の方を養成しているので、女性センター「あすもあ」でも機能する体制づくりをしてほしいがどうか。 ・日本の女性差別、ジェンダーギャップ指数は、世界で 121 位という大罪であり、リプロダクティブ ヘルス ライツへの教育を一人一人が身につけるよう、条例の改善をしてほしいが見解を問う。

傍聴者　配布資料

３． 物集女城の再建で観光文化都市を目指すことについて	向日市が三方囲まれている京都市に今年 3 月 27 日いよいよ「文化庁」が移転されるので、JR 向日町駅や阪急洛西口駅の開発で当市も「世界の京都」とともに発展する最良のチャンスである。恒常的に財政難の当市なので、観光収入や人口増で入りを図り、活路を見いだすため、長岡京市が国から助成を受けて勝龍寺を作られたように、ぜひ「物集女城」も物集女城公園もできたことなので、再建してほしいがどうか。 織田信長に曲者と言われる強者だった戦国時代の西岡衆の武士たちが、時代の激しい流れに翻弄されながらも、民の豊かな暮らしを願い力強く生き抜いた、すばらしい歴史遺産を後世に語り継いでいくため、「歴史と文化の香り高い向日市」を演出する気概を持ってほしいがどうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
１．地下水を保全し、自己水中心の向日市の水道を求める	１、　向日市水道ビジョンに謳われているように、地震や渇水などの渇水などの災害時においても安定した水を供給するために地下水の保全と適切な浄水処理を行い、できる限り自己水を中心に、足らない部分は府営水で賄う、向日市の水道を目指すべき。 ２、　世界で民営化した国が水道料金が高騰し、市民の声が届かなくなり再公営化が進んでいるので、向日市は民営化の話には反対の立場を貫くべき。		
２．高すぎる国民健康保険の引き下げについて	１、高すぎる国民健康保険料を１家庭１万円の減額をするには６９３０万円あればできるので法定外繰り入れをしてでもするべき。 ２、国保の就学前の子供の均等割りを１８歳未満まで均等割りをなくすこと。		
３． 都市計画道路牛ケ瀬馬場線の計画進行状況について	１、　関係機関との協議は今どこまで進んでいるのか。 ２、　工事着工はいつごろの予定か。 ３、　協議が決まれば住民説明会をすると回答していましたがいつごろの予定ですか。 ４、歩道には体育館前のような街路樹の植樹を住民が求められていますがどうか。		

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． ゼロカーボンシティの実現に向けた市長の覚悟を問う	ゼロカーボン社会の実現へ、世界は本気で動き出している。向日市ゼロカーボンシティ宣言は、取組みスタートの宣言であり、必ず実現しなければならない。取り組みについて市長の覚悟を伺う。 （１）向日市は、地域のゼロカーボン実現にむけてどう取り組んでいくか ①向日市で、どのような再エネの創出が可能か調査研究を進めることについて ②向日市で、再エネのゾーニングを設定することについて ③国の脱炭素先行地域づくり事業や脱炭素重点対策加速化事業に参加することについて ④現在の延長でない新たな取り組みを進めるための、組織・人員体制の整備について （２）市民との連携についてどう進めていく考えか （３）来年度の向日市公共施設の電力調達方針について
２． 乙訓環境衛生組合の一般廃棄物処理施設整備基本構想について	昨年３月に、乙訓２市１町で構成する一部事務組合である乙訓環境衛生組合が「一般廃棄物処理施設整備基本構想」を策定した。しかしその内容は市民にほとんど知らされていない。本市への影響と今後について伺う。 （１）現在想定されているごみ処理施設整備のスケジュール、事業費規模と本市財政への影響について

	（２）基本構想の位置づけについて。今後事業計画策定、事業実施までに、市民意見が反映される機会はあるか。 （３）向日市のごみ政策と財政に大きな影響を与えるので、計画策定の節目節目に、向日市議会に報告・説明頂きたいが、いかがか。
３． 生活困窮者への支援と、なんでも相談窓口の設置について	新型コロナ感染症の影響に加え、物価高騰により、生活に困難を抱える市民が増えている。生活福祉資金特例貸付の返済が１月から始まったが、返済できない方が、多数にのぼると聞く。この方々への向日市の支援策を聞く。また市民が気軽に相談できる「福祉なんでも相談窓口」の設置について検討頂けないか。 （１）生活福祉資金の特例貸付の返済の状況と、返済困難者への支援について ①今年１月から始まった本市における返済の状況 ②返済免除、返済猶予、その他返済困難者に対する相談支援の現状について ③新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金や、家計改善支援事業の実績について ④特例貸付の返済困難の相談から、生活保護の相談につながった件数、保護開始の件数 ⑤全国的に、生活困窮される方が顕在化している一方で、生活保護の利用は増えていないようです。その原因と、生活保護の利用促進をはかることについて （２）福祉なんでも相談窓口を設置することについて 特例貸付の返済困難者だけでなく、多くの市民が生活困難の課題を抱えている。そしてその課題は、ひきこもり当事者と同居の親が高齢化して孤立する８０５０問題などのように、複合的で多様となっている。生活に困難を抱える市民に気軽に相談頂き、制度の垣根を越えて対応できる「福祉なんでも相談窓口」の設置を検討いただけないか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．安田市政４年間の生活保護行政と福祉の拡充について	市長は令和元年６月の事件について、不当要求などに関する市の生活保護行政が不十分であったことについて市民に謝罪されました。検証委員会の検証報告書から 3 年、報告書のテーマである「市民に信頼される生活保護制度」となってきたのかなどについて問う。1 月 21 日、「向日市の生活保護を考える会」が京丹後市の生活福祉課総合支援係長の藤村さんを招き、講演会がおこなわれた。京丹後市は生活支援係が生活保護、生活困窮者支援が行われている。寄り添い支援総合サポートセンターでは福祉の相談以外にも垣根をつくらず相談にのっておられています。保護申請が少ないということで議会でも周知が必要と指摘があり、京丹後市長もコロナの時だからこそ周知が必要と新聞折り込みで保護申請チラシを全戸に配布。反応は薄く、デザインももうひとつなのかということでもう 1 回作成したのが「生活保護申請は国民の権利です」というインパクトのあるチラシでした。京丹後市は「誰一人置き去りにしないまちづくりを目指して」という素晴らしい方針で取り組んでいます。・検証委員会に参加され経験されていた福祉事務所長がせめて３年間は異動しないことが必要だったのではないか。なぜ拙速に異動されたのか。・厚生労働省より府は向日市の生保に二度監査が行われた。監査意見及び対応について・全戸に申請チラシ配布を・市長が特に利用を必要と認める福祉タクシーチケットの交付に障がいの級数で合算すればできるようにして頂きたいがどうか。

２．企業城下町より向日市住民共同体の町を	向日市制５０周年記念誌の永守氏と安田市長の対談を読まれた市民からこんな声が寄せられた。「永守氏が私の夢は、市内に工場や研究所を増やしていって、トヨタ自動車の豊田市、パナソニックの門真市のように、向日市と日本電産が一体となって発展する街にしたい。云々とあるが向日市を永守城下町にしていこうと考えているんですね」と今までも市民から「永守村になるのか」といった声が私に寄せられていました。また先日の市民会館記念講演会に参加された市民から向日市議会議員各位というハガキが寄せられ、永守氏の講演内容の歴代市長・市議会の皆さんへの悪口暴言、市長の褒めあげ云々について議員がどのような気持ちで聴き感じられたかと心配していたかと心配していたとの文面でした。その方の意見を鵜呑みにするものではありませんが、これらの市民の声について質問。永守氏が莫大な費用をかけて市民会館を寄付して頂いた事については感謝しています。ただ市は森本東部開発地域の日本電産のために牛ヶ瀬馬場線に莫大な費用をかけました。この道路を一番有効活用しているのは日本電産です。土地の有効活用と言って川の流れを直角に二回曲げてで変更している。かって日本は重化学工業企業が立地する「企業城下町」が成功都市のひとつであり、多くの都市の羨望の的「いつかは超大企業が地元を選んでくれれば安泰だ」と多くの人が思い今だに企業誘致に取り組んでいます。しかし現在はこのような大企業群に依存する企業城下町がモデルが続々と終焉を迎えています。すでに「企業城下町」は時代遅れではないでしようか。現在の値打ちある向日市をつくってきたのは先祖代々から村民・町民・市民みんなではないでしようか。向日市に住んでる住民がつくってきた町です。そこで質問①日本電産と向日市が一体となって発展する街が魅力ある街と市長は思っておられるのか。また市民がそう思っていると考えているのか。②「永守村」や「永守城下町」との意見を持っておられる市民の声についてどのように考えているのか。③永守重信市民会館に向日市をいれることについて検討していただけないか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、平和行政の充実について	1、今回の「安保 3 文書」決定は国会にも諮らず、5 年間で防衛費 43 兆円と敵基地攻撃が出来ることになるとした場合に対し、市民生活への影響等について市長のご所見を伺う。 2、戦争をしないことが政治の責任です。平和理念について市長も参加しておられる「平和首長会議」をどう考えているか。 3、ロシアのウクライナ軍事侵略から 1 年を超えました。今大事なことは核兵器の使用禁止及び廃絶と平和のための準備が必要です。世界平和都市宣言４０周年新事業として来年度「語り部による被爆体験講話」の計画を本年に前倒し出来ないか。
2、「ぐるっとむこうバス」利用促進について	1，団塊世代が 75 才に到達し後期高齢者になっていかれます。高齢社会に対応が求められている。高齢者の移動手段にコミバスの必要性は高まっていきます。高齢化率の見込み（推定）について伺う。 2、ノーマライゼーション、交通バリアフリー法の整備が大切です。バス事業委託事業者に対して車椅子対応、高齢者、妊婦さんなど対応マニュアルはどうなっているでしょうか。地域公共交通委員会の改善・方策と全市民に対しての啓発について伺う。 3、反時計回りだけの運行ルートがベストでないことはみんな感じていることでありますが、市の見解を求めます。

	4、今夏休み中の小学生向けにキッズ無料を設けるとしました。更に高齢者と若年層（子育て世帯）などの生活困窮者を支援するような新たな施策として敬老乗車パス導入（又は半額パス）について導入で便利になることを求めます。市主催のイベント開催運行について再度要望します。検討できないか、今後の利用促進策について伺います。
3、市役所・市民会館周辺の駐車場確保について	1、市役所・市民会館など同じ施設利用して無料と有料に区別されることに市民は戸惑います。駐車場利用者にわかりやすい基準を設けるべきではないでしょうか。 2、駐車場情報の提供として第 1 駐車場にも「電光掲示」のお知らせが出来ないかお尋ねします。市役所と市民会館ホールがまもなく（3 月）オープンします。それらの施設の年間来訪者人数と車での予想、見込みはどうか。この間第 3 駐車場で 10 台に増やされ 50 台になりましたが、これまで駐車場が満杯になった日数はありましたか。競輪場第 4 駐車場の利用条件とシャトルバスの運行マニュアルはどうか。 3、歩行者安全の対策として要望していました T 字路の道路照明ポール設置有り難うございました。工事中の寺戸幹線 6 号（市道５８号線）は西側の BOX カルバート敷設工事がされていますが、東側（南垣内地内）狭小部分で歩行者の安全対策が待たれています。道路拡幅整備状況について伺う。